

千葉県訪問看護ステーション
連絡協議会 広報

葉の花

第14号



発行日:平成22年11月27日

発行所:千葉県訪問看護ステーション連絡協議会

発行責任者:会長 権平 くみ子

INDEX

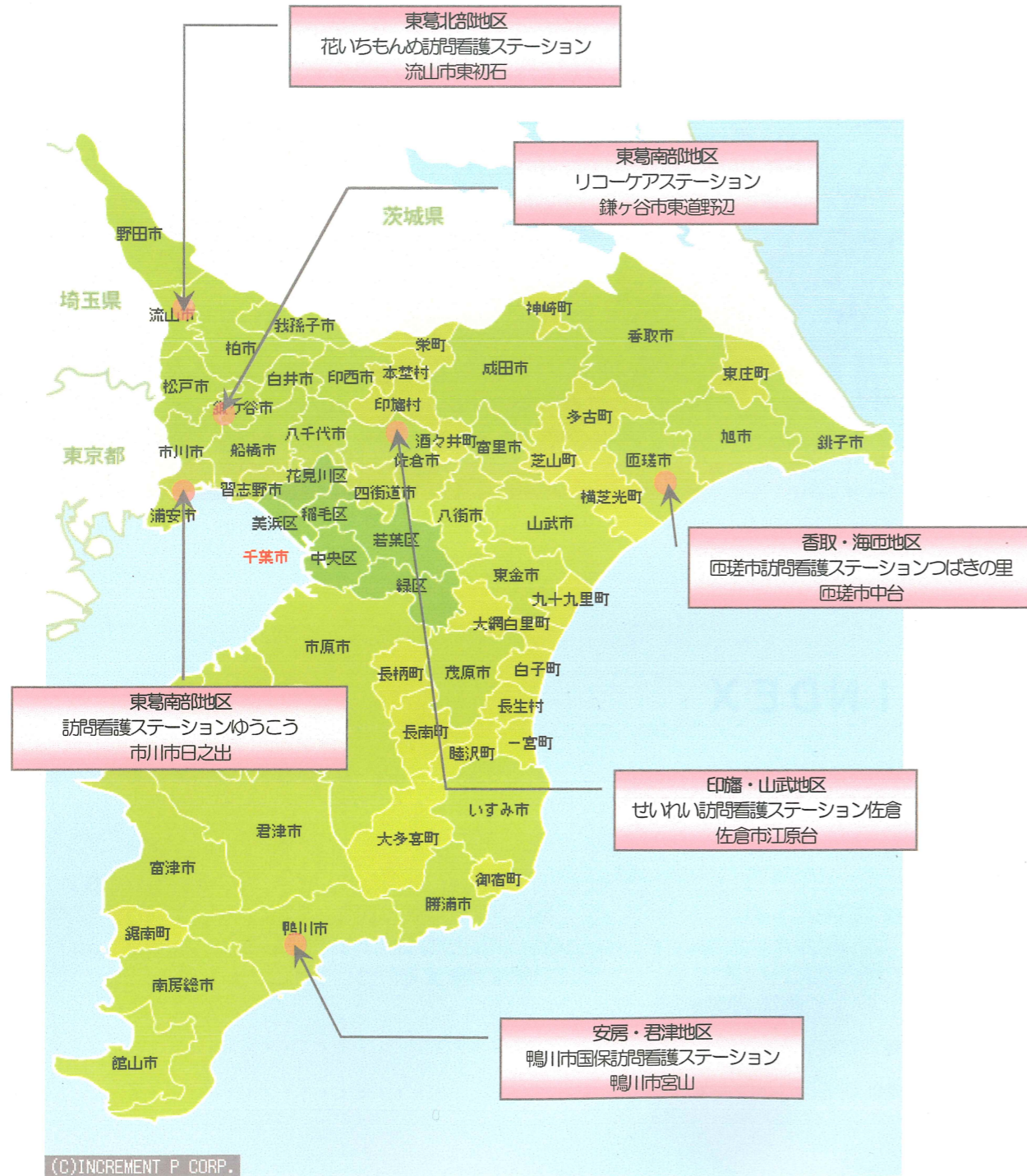
- ステーションMAP・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 研修報告とともに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
訪問看護ステーションゆうこう
- ステーション便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2~5
せいわれい訪問看護ステーション佐倉/花いちもんめ訪問看護ステーション/
リコーケアステーション/鴨川市国保訪問看護ステーション/
匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里
- 事例報告会のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7



■ステーションMAP■



*今回の広報に記事を投稿して下さったステーションのMAPです。



(C)INCREMENT P CORP.



研修報告とともに

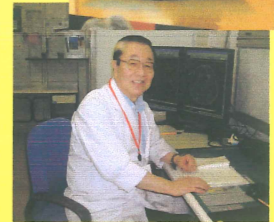
訪問看護ステーションゆうこう
泉山 明美

日 時：平成22年5月22日(土) 13:30~
場 所：千葉ハーモニープラザ

中島英雄 先生=落語家 桂前治 として、『笑いと化学』の講座を開催いたしました。笑うことにより免疫機能も上がり、療養生活も楽しいものになるであろうとお話です。

しかもっ面で苦情ばかりの毎日よりは笑いが絶えない方が素敵です。私のステーションのパンフレットにも、キャッチフレーズとして“あなたの最高の笑顔がみたいから”とうたってあり、それを目標にして、訪問でもプラス何か“笑い”をとってくるよう努力(?)しています。

先生の話は本当に楽しく、思わず大声を出して笑ってしまいました。免疫機能UP!!



昨年度はインフルエンザの流行に伴い、大きな影響がありました。ガウンやマスク等を各ステーションに配布する事態となりました。今年はまだ余裕がありますが、地球温暖化により気候の変動も大きく、今後どのような事が起きるのか・・・それでもやっぱり、楽しく訪問看護を続けていきたいと思う今日この頃です。

ディズニーランドで年1回、障害者を100名招待しています。ボランティアも200名募集します。今年初めて知りましたが、招待だけに無料ですし、食事が付いて、しかも募集したボランティアから2名が介助につきますので、とても安心して楽しむことができます。

今年は終わってしまいましたが、来年是非参加してみたいかかでしょうか。

今回は会長代行として、研修報告を含めて最近感じたちょっとしたことを書かせていただきました。みなさんいろいろな情報をお持ちだと思います。広報を活用して共有できればいいですね。

印旛・山武地区



せいれい訪問看護ステーション佐倉
飯塚 広美



今年1月に産声を上げたばかりのせいれい訪問看護ステーション佐倉です。約2年間聖隷佐倉市民病院の訪問看護室として活動してきました。

しかし、訪問看護室では当院の利用者様しか訪問ができなかったため、近隣の開業医の依頼も受けられるよう訪問看護ステーションを開業しました。

地域と連携をとり、ひとりでも多くのかたに利用していただけるよう“あなたが望む過ごしかたを支援するために”をモットーにメンバー丸となって活動しています。

現在利用者数 50名
1月当り訪問回数 200回

東葛北部地区

花いちもんめ訪問看護ステーション
秋谷 シヅ江

花いちもんめ訪問看護ステーションは平成20年6月に開設した新参ステーションです。

開設のキッカケは、併設の高齢者グループホームが当時6年目を迎え、利用者の中には徐々に医療の必要な方が出てきたこと、また周囲の友人が後押し役となって力を貸してくれたことでした。

利用者は、いつも顔なじみの看護師に継続した看護が受けられ、双方共に家族も安心につながり、2年目を迎えた今は思い切って（開設して）良かったと思っています。

スタッフは私の友人たちを合わせて5人の看護師です。知識・技術はあっても、訪問看護は全員初めての経験でしたので、ホーム以外の仕事は最初かなり勇気がいりました。しかし、そこは年の功と人生経験でカバーしながら、訪問先で専門性を発揮でき、（看護師）資格に“錆”がつかないためにも研修を受けながら「日々研鑽」を信条に努力しています。

初心者マークの当ステーションを、近隣のステーションさんが相談にのってくださったり、事務的なことを教えていただいたり、現在も大変助かっています。そして、今まで無事仕事をやってこられたのも周囲の皆さま及び良きスタッフのお陰と感謝しています。

今後は、地域へ少しづつ活動範囲を広げ、自分たちも満足できる良い仕事ができるよう、研修会・情報交換等に参加しながら、何と云っても「自分磨き」を惜しまず、地道に「80代まで現役(?)」を目指したいと皆で話し合っています。(笑)



東葛南部地区

リコーケアステーション
石富 芳子

2009年12月に設立しました。

設立した動機は、地域医療に貢献している医師とともに勤務するうち「疾病よりも人を診る。そこから病がわかる。だからアセスメントが大切な看護。」と身をもって教えていただき、では看護師として定年までの10『数年、私には何かできるのだろうか?』と考えました。

スタッフは30代・40代ばかりです。

私たちは訪問看護の全てが新鮮で学びの日々を過ごしています。在宅ならではの看護をするたび、感動しています。「患者と共に生死と向き合おう 投与と楽の看護をしよう」と前向きです。さらにNICU経験者が2名おり、彼女たちの実力をどんどん発揮していただこうと、今後は小児にも力を入れてまいります。

患者さまたちはみなさん優しく、在宅看護って本当に楽しいです。看護技術が衰えないよう、点滴や採血も喜んで引き受けています。しかし、技術よりも「人間性や感性が在宅ではもっと大切な看護要因なのね。」としみじみスタッフと話し合っている今頃です。

これからも協議会の皆様にご指導をいただきながら、小さなステーションでも泰然自若な富士山のように地域社会に貢献できるよう努力します。

どうぞよろしく願いいたします。

安房・君津地区

鴨川市国保訪問看護ステーション
田代 ひろ子

皆さん、こんにちは。

今年の夏は、暑かったですね。そのためか、今刈り入れの終わった田んぼの畦には、ようやく真っ赤な彼岸花が咲いています。

私たちの事務所は、長狭米で有名な長狭平野のど真ん中に位置しています。そのため、私たちの訪問エリアはおのずと山の中、田んぼの中を、時には林の中を走り、訪問しています。

母体の鴨川市立国保病院の半径10キロ圏内には医療機関はないため、これまた訪問先までは遠いところも多く、公的交通機関も通らない地域が多くあります。そんな環境の中で、おらがむらの国保病院は早くより訪問診療・訪問看護を地域住民に提供してきました。まだ、世の中が今のようなサービスが出来る前から……。



そんな訳で私たち職員も地域の中にとっぴりとつかり、みんなが顔見知りの関係で仕事をしていると言っても間違いではない様に感じています。年1回長狭地区で開催される健康祭りには、ステーションが主体になっての健康劇を演じています。今年でシリーズ7回目を迎えました。只今の時期は、その日のために練習中です。大道具・小道具を作ったり、音響・メイクも自分たちで行います。みんな一度舞台に立つと癖になるようで、来年のオーディション・脚本は大変になりそうです。

ちなみに今回のあらすじは、認知になった妻の介護に疲れた夫の巻きです。さて来年は、日々の仕事からアイデアをいただいています。

香取・海浜地区

最近の訪問看護ステーション事情（香取・海浜地区）

匝瑳市訪問看護ステーション つばきの里
管理者 英 香代子 

私たちの訪問看護ステーションは、九十九里海岸に面した匝瑳市に位置しています。

国道周辺地域を除けば、ゆったりとした田園風景が延々と続き、訪問先周辺には目印がほとんどないこともあり、次回の訪問者に場所を伝えるのに一苦労…、地図を見てあるはずの道がなぜ道になっていて車じゃちょっと進めない?…なんてことも時々あります。

とっぴりと田舎時間に浸って訪問看護をしています。おかげさまで訪問の移動時には、田園風景から四季の移り変わりを感じ癒されております。

特に初夏の田んぼは最高の癒しです。緑の絨毯が風になびいてとても素敵です。ぜひ、皆様にも体感していただきたいです。この辺りの地域は海の近くなので、いつもはそれほどでもないのですが、今年の夏は酷暑でした。本当に暑くて、利用者の皆さんもナースもよく頑張ったと思います。皆様のステーションでもさぞかし大変だったこととお察しします。

これからは極寒の冬がやってきます…。手足腰の冷え対策をしないとイケません。貼り付け可能なカイロは必需品ですよ。

こんなふうに、四季折々を体全体で感じて毎日訪問看護にいそしんでいます。



私たちのステーションは、国保匝瑳市民病院の地域ケア部に属しています。

病院が母体であるがゆえ(?)に、医療依存度の高い方や、ターミナルケアを必要とする方の訪問が多いのが特徴です。管理者を含め6名のナースが、約70名の利用者さんのご自宅を訪問し24時間365日、毎日安心して生活を支えています。

おかげさまで、とって回転率が早く、毎日のように新規利用者の調整をしているように感じています。私だけかも知れませんが...

わが地域の強みは、地域の医師会の先生方がとても協力的なこと。独自のシステムで、開業医の先生方の往診患者さんは「医師会の24時間システム」に登録してあれば、主治医の先生がご不在でも当番の先生が相談もしくは往診して下さるといって画期的なシステムです。(夜間、休日相談可。訪問看護で関わっている利用者さんも多数いらっしゃいます。)

うちのナースたちも大変助かっていますし、なにより利用者さんや家族の方が安心してきており、医師会の先生方には本当に感謝しています。案外休日って、利用者さんたちの体調変化があると思われませんか。



(ちょっとした発熱とか)。

やっぱり、開業医の先生たちも一人で診察も地域も毎日...というのは大変ですよね。

地域医療は、現場の皆が協力し合って実現するものだ実感している、今日この頃です。



それから、香取・海浜地区の訪問看護ステーションで前年度より行っている「訪問看護支援事業」についてもご報告致します。

今年度は昨年に引き続き、当ステーションに総合相談窓口(香取海浜訪問看護ネットワークセンター)設置して、訪問看護に関するあらゆる相談に対応しています。(あまり、相談は多くないのですが...)

また、訪問看護のPR活動では、ちらしやパンフレットの作成を行い、地域の産業まつり等で一般の方への配布を行っています。

地域の基幹病院(国保旭中央病院)との看看連携を深めるために、年間2回程度の交流会(事例検討等)を企画しています。この交流会は昨年も行いましたが、病棟ナースからの反応も上々でした。病院を退院された利用者さんの自宅での様子を、退院した病棟のナースへ伝えていく「看看サマリー」も昨年から継続して行っています。これまた、病棟ナースからの反応は良いです。病棟のナースの方々も、在宅に興味を持っていただいているのだなと感じられます。

また今年度は、在宅におけるWOCナースの専門的関わりを実現するため、「認定看護師コンサルタント支援事業」を立ち上げ、実施しています。実際の生活の場で専門的に評価・支援いただけるので、より生活に密着した指導となってくると考えます。

この事業が足がかりとなり、WOCナース以外の認定看護師の皆様がもっともっと地域に出て活躍できる場が整備されれば、在宅療養者の方々はもとより、訪問看護師にもメリットがあるのではないかと思います。こんな感じで活動中です。



新米管理者の私は、この「訪問看護支援事業」を通して、同地域の訪問看護ステーションの諸先輩方との面識が持て、色々とお世話になっております。とても感謝しています。

昨今は、看護師間の連携が不十分な状況も見受けられます。訪問看護師間のコミュニケーションも、もっともっと活発にしていけたらいいと思います。管理者という立場は案外孤独を感じることもあり、同じ立場で活躍されている方々のお言葉は大変貴重かつありがたいです。

まだまだ、報酬改正のたびにお達しの意味を理解するのに頭を悩ませている状況ですが、皆様のお力も借りつつ、精進していきたいと思っています。



◆事例報告会のお知らせ◆

日程：平成23年2月19日(土) 10:00~16:00 (受付9:30~)

会場：千葉県看護協会 研修室

分野	発表者	コメンテーター
10:00~ リハビリ	東葛南部地区 さざぬま訪問看護ステーション	千葉県 リハビリテーションセンター 地域連携室 田中 康之 様
	夷隅・長生・市原地区 茂原訪問看護ステーション	
	夷隅・長生・市原地区 やすらぎ訪問看護ステーション	
精神	香取・海浜地区 訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター	淑徳大学 看護学部 准教授 大越 扶貴 様
	東葛南部地区 鎌ヶ谷訪問看護ステーション	
認知症	東葛北部地区 花いちもんめ訪問看護ステーション	大越 扶貴 様
	安房・君津地区 さつき台訪問看護ステーション	
12:30~	昼 食	
13:30~ 小児	千葉市地区 鎌取訪問看護ステーション	千葉県 リハビリテーションセンター 小児CNS 市原 真穂 様
	東葛南部地区 訪問看護ステーションゆうこう	
	夷隅・長生・市原地区 訪問看護ステーションわたぼうし	
難病・ ALS	千葉市地区 看護協会ちば訪問看護ステーション	千葉県立保健医療大学 看護学科 助教授 辻村 真由子 様
	東葛北部地区 流山市訪問看護ステーション	
癌	千葉市地区 鎌取訪問看護ステーション	辻村 真由子 様
	印旛・山武地区 訪問看護ステーションいちご	
	安房・君津地区 亀田訪問看護ステーション	

★千葉県訪問看護ステーション連絡協議会で初めて行う事例報告会となります。それぞれの分野の専門家をコメンテーターとしてお招きしています。今後の訪問看護に役立つこと間違いなしです。どうぞご参加ください。(午前のみ・午後のみでも可)



県内の病院で、ムーコル症による院内感染の疑いのある死亡者が発生したとの報告がありました。在宅の事例ではありませんが、情報としてお知らせしておきます。尚、ムーコル症については下記に記載しましたので参考にしてください。

ムーコル症とは、ムーコル目に属する諸菌種によって起こる真菌症。肺、副鼻腔、肝臓、腸管などに壊死性の病変を形成する。限局性の深部皮膚感染症もあるが、深部臓器に感染することは稀である。法定感染症ではない。ムーコル真菌は常在菌であって、健康な者にはほとんど影響がないが、白血病などの免疫機能が低下した人が感染すると重症化する場合もある。

編集後記

秋を通り越して急に冷え込み、まるですぐ冬になってしまった印象です。体調を崩しやすい季節ですね。何よりも身体が資本！！気をつけたいものです。

さて、今回の『菜の花』。ちょっとさみしい紙面になってしまいました。こちらの広報不足？もあったのでしょうか。

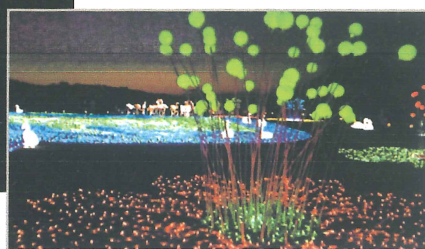
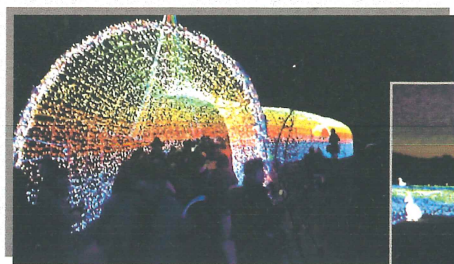
ステーションのご紹介だけでなく、本当に何でもいいのです。みなさんにいろいろな記事を読んでいただき、ホッとしてもらったり、共感してもらったり、ヒントにってもらったり・・・笑ってもらえるのもいいですね。

そんな広報誌にできればいいなと思います。



あと1カ月もたてば、クリスマス♪みなさんはどう過ごされるご予定ですか？あちこちでイルミネーションが輝く季節、千葉県内でもいろいろなイルミネーションスポットがあります。ステーションの近くに、素敵なスポットがあるかもしれませんね。

今回は袖ヶ浦市にある『東京ドイツ村』のイルミネーションをご紹介します！！広い敷地に点在する200万個の電球が放つ色とりどりの光は、都心とはダイナミックさを感じられることでしょう。2011年2月13日まで開催されています。一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



『菜の花』はみなさんと一緒に作る会報誌です。
ご意見・ご感想・ペット自慢・ちょっとした写真
etc・・・

『菜の花』への投稿を、引き続き首を長〜くして
お待ちしております。

